

番号	2 - 28	申請者	看護師 豊田 健太
<p>【審査申請課題】</p> <p>誤嚥リスクのある患者に対する嚥下スクリーニング評価の活用</p>			
<p>【審査課題の概要】</p> <p>超高齢化社会を迎えるにあたり、死因順位の上位に入る誤嚥性肺炎患者に対し、看護師には摂食嚥下の知識や技術が必要である。A病棟では、誤嚥リスクの高い高齢者の入院が多いが、摂食嚥下に対するスクリーニング法が定まっておらず、看護師個々の判断にゆだねられ、嚥下機能の把握が不十分なまま経過している現状がある。そこで、言語聴覚士が使用している反復唾液嚥下テスト(以下RSST)や改訂水飲みテスト(以下MWST)を看護師も活用することで、早期に摂食嚥下に対する看護介入ができ、誤嚥を回避した食事介助ができるのではないかと考えた。</p>			
審査結果	承認 (令和2年11月16日)		